

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 岐阜県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	岐阜県総合医療センター	2
-	多治見病院	3
-	下呂温泉病院	4
岐阜市	岐阜市民病院	5
大垣市	大垣市民病院	6
多治見市	多治見市民病院	7
中津川市	総合病院 中津川市民病院	8
美濃市	美濃病院	9
羽島市	羽島市民病院	10
恵那市	市立恵那病院	11
恵那市	国民健康保険上矢作病院	12
土岐市	土岐市立総合病院・駄知診療所	13
飛騨市	国民健康保険飛騨市民病院	14
郡上市	郡上市民病院	15
郡上市	県北西部地域医療センター国保白鳥病院	16
下呂市	下呂市立金山病院	17
関ヶ原町	国保関ヶ原病院	18
東白川村	国保病院	19

東濃中部病院事務組合 公立東濃中部医療センター 20

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名		岐阜県総合医療センター	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,978,742	
決算規模(千円)	881,494,964	
標準財政規模(千円)	499,987,218	
財政力指数	0.53775	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	224.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	104,369			
1 経常収益	104,369			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	104,369			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	104,369			
2 経常費用	104,369			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	-	-	8.6	7.4
経費	-	-	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	104,369			
(うち支払利息)	104,369	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	6,351,329			
経常収支比率	100.0		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	87.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名	多治見病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,978,742	
決算規模(千円)	881,494,964	
標準財政規模(千円)	499,987,218	
財政力指数	0.53775	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	224.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	29,137			
1 経常収益	29,137			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	29,137			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	29,137			
2 経常費用	29,137			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	-	-	8.6	7.4
経費	-	-	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	29,137			
(うち支払利息)	29,137	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	1,291,966			
経常収支比率	100.0		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	87.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名			
病院名		下呂温泉病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,978,742	
決算規模(千円)	881,494,964	
標準財政規模(千円)	499,987,218	
財政力指数	0.53775	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	224.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,692			
1 経常収益	1,692			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,692			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,692			
2 経常費用	1,692			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	66.2
材料費	-	-	27.1	21.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	-	-	8.6	9.5
経費	-	-	22.0	28.6
(うち委託料)	-	-	11.8	14.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,692			
(うち支払利息)	1,692	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	89.9
医業収支比率	-		83.9	79.3
修正医業収支比率	-		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	77.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	岐阜市		
病院名	岐阜市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ト透I未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	56,541 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が 災地 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	515	81.8	80.1	81.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	57.4	59.0	60.5
感染症	-	-	-	-
計	565	79.6	78.2	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	10.3	10.7

設立団体の状況	
人口(人)	402,557
決算規模(千円)	193,109,850
標準財政規模(千円)	91,998,582
財政力指数	0.81
経常収支比率(%)	96.7
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 2.5 -

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,286,403			
1 経常収益	23,286,403			
(1) 医業収益	21,138,374			
(うち修正医業収益)	20,802,772			
入院収益	13,601,889			
外来収益	6,834,578			
診療収入計	20,436,467			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	701,907			
(うち他会計負担金)	335,602			
(2) 医業外収益	2,148,029			
(うち国・都道府県補助金)	53,943			
(うち他会計補助・負担金)	920,113			
(うち長期前受金戻入)	886,375			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,815,769			
2 経常費用	24,815,769			
(1) 医業費用	23,449,277			
職員給与費	11,122,582	52.6	60.8	53.3
材料費	7,126,010	33.7	27.1	33.0
(うち薬品費)	5,298,985	25.1	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,812,324	8.6	11.8	14.1
減価償却費	1,565,645	7.4	8.6	7.4
経費	3,514,239	16.6	22.0	17.2
(うち委託料)	2,162,570	10.2	11.8	10.2
研究研修費	76,461			
資産減耗費	44,340			
(2) 医業外費用	1,366,492			
(うち支払利息)	73,524	0.3	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損失	-1,529,366			
純損失	-1,529,366			
累積欠損金	2,381,738			
経常収支比率	93.8		93.0	94.3
医業収支比率	90.1		83.9	89.6
修正医業収支比率	88.7		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	5.4		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	5.9		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	5.4		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	88.8		81.6	87.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	23,389,525
1 固定資産	14,744,405
(1) 有形固定資産	13,482,778
(2) 無形固定資産	680,613
(3) 投資その他の資産	581,014
2 流動資産	8,645,120
(1) 現金及び預金	4,642,479
(2) 未収金及び未収収益	3,730,464
(3) 貸倒引当金()	16,983
(4) 貯蔵品	150,180
3 繰延資産	-
負債合計	20,600,579
1 固定負債	10,067,277
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,107,573
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,959,704
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,258,371
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,909,927
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	757,006
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,508,261
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,274,931
(1) 長期前受金	15,462,447
(2) 長期前受金収益化累計額()	11,187,516
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,788,946
1 本金	4,707,236
2 剰余金	-1,918,290
(1) 資本剰余金	18,000
(2) 利益剰余金	-1,936,290
負債・資本合計	23,389,525
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,255,715	1,255,715
資本勘定繰入	852,286	852,286
計	2,108,001	2,108,001

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名	大垣市				
病院名	大垣市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	79,046 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	771	72.4	72.0	69.5
療養	-	-	-	-
結核	40	7.7	10.6	17.5
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	18.4	64.2
計	817	68.7	68.6	67.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	10.6	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	158,286	
決算規模(千円)	67,360,956	
標準財政規模(千円)	38,706,463	
財政力指数	0.84	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.1
	将来負担比率(%)	14.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	35,212,314			
1 経常収益	35,212,168			
(1) 医業収益	34,367,928			
(うち修正医業収益)	34,300,928			
入院収益	19,861,528			
外来収益	13,978,577			
診療収入計	33,840,105			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	527,823			
(うち他会計負担金)	67,000			
(2) 医業外収益	844,240			
(うち国・都道府県補助金)	125,110			
(うち他会計補助・負担金)	395,568			
(うち長期前受金戻入)	79,211			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	146			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	36,210,961			
2 経常費用	35,925,478			
(1) 医業費用	33,876,492			
職員給与費	14,435,824	42.0	60.8	53.3
材料費	13,731,887	40.0	27.1	33.0
(うち薬品費)	8,715,954	25.4	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,826,939	14.0	11.8	14.1
減価償却費	1,378,028	4.0	8.6	7.4
経費	4,206,959	12.2	22.0	17.2
(うち委託料)	2,427,575	7.1	11.8	10.2
研究研修費	94,820			
資産減耗費	28,974			
(2) 医業外費用	2,048,986			
(うち支払利息)	72,208	0.2	0.9	0.7
(3) 特別損失	285,483			
経常損益	-713,310			
純損益	-998,647			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.0		93.0	94.3
医業収支比率	101.5		83.9	89.6
修正医業収支比率	101.3		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	1.3		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	1.3		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	1.3		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	96.7		81.6	87.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	52,500,436
1 固定資産	20,056,214
(1) 有形固定資産	17,414,725
(2) 無形固定資産	444
(3) 投資その他の資産	2,641,045
2 流動資産	32,444,222
(1) 現金及び預金	26,147,306
(2) 未収金及び未収収益	6,117,931
(3) 貸倒引当金()	110,501
(4) 貯蔵品	289,486
3 繰延資産	-
負債合計	10,387,520
1 固定負債	6,099,468
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,225,861
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,862,717
(6) リース債務	10,890
2 流動負債	3,400,649
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	281,544
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	842,000
(6) リース債務	26,136
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,225,969
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	887,403
(1) 長期前受金	1,942,847
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,055,444
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	42,112,916
1 本金	22,844,502
2 剰余金	19,268,414
(1) 資本剰余金	149,109
(2) 利益剰余金	19,119,305
負債・資本合計	52,500,436
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,169,361	462,568
資本勘定繰入	804,014	176,330
計	1,973,375	638,898

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		多治見市			
病院名		多治見市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,779 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	250	79.7	67.9	75.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	79.7	67.9	75.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	15.7	15.5

設立団体の状況		
人口(人)	106,732	
決算規模(千円)	44,468,684	
標準財政規模(千円)	24,669,653	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-2.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	624,319			
1 経常収益	624,319			
(1) 医業収益	77,636			
(うち修正医業収益)	8,398			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	77,636			
(うち他会計負担金)	69,238			
(2) 医業外収益	546,683			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	302,673			
(うち長期前受金戻入)	221,824			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	637,744			
2 経常費用	637,744			
(1) 医業費用	583,422			
職員給与費	-	-	60.8	66.2
材料費	-	-	27.1	21.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	206,428	265.9	8.6	9.5
経費	361,141	465.2	22.0	28.6
(うち委託料)	9,742	12.5	11.8	14.4
研究研修費	-			
資産減耗費	15,853			
(2) 医業外費用	54,322			
(うち支払利息)	40,018	51.5	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-13,425			
純損益	-13,425			
累積欠損金	1,727,979			
経常収支比率	97.9		93.0	89.9
医業収支比率	13.3		83.9	79.3
修正医業収支比率	1.4		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	59.6		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	479.0		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	59.6		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	39.6		81.6	77.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,301,748
1 固定資産	5,558,625
(1) 有形固定資産	5,442,231
(2) 無形固定資産	2,906
(3) 投資その他の資産	113,488
2 流動資産	743,123
(1) 現金及び預金	739,926
(2) 未収金及び未収収益	3,197
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,899,729
1 固定負債	3,180,980
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,131,188
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,792
(6) リース債務	-
2 流動負債	499,481
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	265,157
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	233,324
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,219,268
(1) 長期前受金	3,217,427
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,998,159
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,402,019
1 資本金	1,693,432
2 剰余金	-291,413
(1) 資本剰余金	1,436,566
(2) 利益剰余金	-1,727,979
負債・資本合計	6,301,748
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	199,289	371,911
資本勘定繰入	119,141	119,141
計	318,430	491,052

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2225.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名	中津川市				
病院名	総合病院 中津川市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	25,973 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	316	73.1	62.9	61.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	316	73.1	62.9	61.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.9	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	76,570	
決算規模(千円)	44,898,346	
標準財政規模(千円)	24,544,160	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	91.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,796,372			
1 経常収益	8,796,372			
(1) 医業収益	8,134,939			
(うち修正医業収益)	7,963,977			
入院収益	5,226,465			
外来収益	2,314,224			
診療収入計	7,540,689			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	594,250			
(うち他会計負担金)	170,962			
(2) 医業外収益	661,433			
(うち国・都道府県補助金)	12,936			
(うち他会計補助・負担金)	554,925			
(うち長期前受金戻入)	44,025			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,340,004			
2 経常費用	9,311,224			
(1) 医業費用	8,913,411			
職員給与費	4,673,276	57.4	60.8	61.3
材料費	1,955,208	24.0	27.1	26.2
(うち薬品費)	904,523	11.1	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,050,685	12.9	11.8	11.2
減価償却費	494,271	6.1	8.6	8.5
経費	1,750,854	21.5	22.0	21.8
(うち委託料)	1,023,280	12.6	11.8	11.9
研究研修費	16,210			
資産減耗費	23,592			
(2) 医業外費用	397,813			
(うち支払利息)	22,826	0.3	0.9	0.9
(3) 特別損失	28,780			
損益	-514,852			
純損益	-543,632			
累積欠損金	7,411,824			
経常収支比率	94.5		93.0	92.2
医業収支比率	91.3		83.9	84.6
修正医業収支比率	89.3		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	8.3		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	86.7		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	8,767,833
1 固定資産	4,932,944
(1) 有形固定資産	4,391,136
(2) 無形固定資産	1,731
(3) 投資その他の資産	540,077
2 流動資産	3,834,889
(1) 現金及び預金	2,378,880
(2) 未収金及び未収収益	1,321,508
(3) 貸倒引当金()	1,375
(4) 貯蔵品	135,876
3 繰延資産	-
負債合計	5,170,576
1 固定負債	3,717,970
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,733,078
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,980,777
(6) リース債務	4,115
2 流動負債	1,238,803
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	396,469
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	236,290
(6) リース債務	1,543
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	565,864
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	213,803
(1) 長期前受金	697,559
(2) 長期前受金収益化累計額()	483,756
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,597,257
1 本金	10,979,948
2 剰余金	-7,382,691
(1) 資本剰余金	29,133
(2) 利益剰余金	-7,411,824
負債・資本合計	8,767,833
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	725,887	725,887
資本勘定繰入	302,565	302,565
計	1,028,452	1,028,452

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	91.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		美濃市			
病院名		美濃病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,289 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	122	88.0	86.7	86.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	122	88.0	86.7	86.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	13.6	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	19,247	
決算規模(千円)	10,937,280	
標準財政規模(千円)	6,268,449	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	5.9

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	2,736,556				
1 経常収益	2,736,556				
(1) 医業収益	2,661,876				
(うち修正医業収益)	2,645,500				
入院収益	1,654,659				
外来収益	769,317				
診療収入計	2,423,976				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	237,900				
(うち他会計負担金)	16,376				
(2) 医業外収益	74,680				
(うち国・都道府県補助金)	15,410				
(うち他会計補助・負担金)	33,151				
(うち長期前受金戻入)	9,853				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,955,874				
2 経常費用	2,952,966				
(1) 医業費用	2,816,846				
職員給与費	1,412,559	53.1	60.8	69.3	
材料費	307,205	11.5	27.1	18.4	
(うち薬品費)	124,075	4.7	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	183,130	6.9	11.8	9.1	
減価償却費	212,559	8.0	8.6	10.8	
経費	878,266	33.0	22.0	29.9	
(うち委託料)	431,592	16.2	11.8	13.7	
研究研修費	4,242				
資産減耗費	2,015				
(2) 医業外費用	136,120				
(うち支払利息)	23,568	0.9	0.9	1.0	
(3) 特別損失	2,908				
経常損	-216,410				
純損	-219,318				
累積欠損金	-				
経常収支比率	92.7		93.0	91.6	
医業収支比率	94.5		83.9	77.4	
修正医業収支比率	93.9		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	1.8		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	1.9		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	1.8		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	91.0		81.6	75.4	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,750,893
1 固定資産	3,981,739
(1) 有形固定資産	3,682,878
(2) 無形固定資産	212
(3) 投資その他の資産	298,649
2 流動資産	2,769,154
(1) 現金及び預金	2,380,566
(2) 未収金及び未収収益	386,979
(3) 貸倒引当金()	3,133
(4) 貯蔵品	4,742
3 繰延資産	-
負債合計	2,421,272
1 固定負債	1,767,949
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,767,949
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	557,196
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	234,000
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	92,104
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	230,718
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	96,127
(1) 長期前受金	231,744
(2) 長期前受金収益化累計額()	135,617
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,329,621
1 資本金	4,098,046
2 剰余金	231,575
(1) 資本剰余金	208,458
(2) 利益剰余金	23,117
負債・資本合計	6,750,893
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	53,772	49,527
資本勘定繰入	243,680	164,849
計	297,452	214,376

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		羽島市			
病院名		羽島市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,158 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	271	70.1	67.0	66.9
療養	-	-	-	-
結核	10	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	281	67.6	64.7	64.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	13.9	12.4

設立団体の状況		
人口(人)	65,649	
決算規模(千円)	28,142,780	
標準財政規模(千円)	14,672,419	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	99.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,435,939			
1 経常収益	5,435,303			
(1) 医業収益	4,667,477			
(うち修正医業収益)	4,497,256			
入院収益	3,079,082			
外来収益	1,278,258			
診療収入計	4,357,340			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	310,137			
(うち他会計負担金)	170,221			
(2) 医業外収益	767,826			
(うち国・都道府県補助金)	57,121			
(うち他会計補助・負担金)	561,668			
(うち長期前受金戻入)	124,382			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	636			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,229,007			
2 経常費用	6,209,468			
(1) 医業費用	5,968,359			
職員給与費	3,265,894	70.0	60.8	66.2
材料費	778,698	16.7	27.1	21.2
(うち薬品費)	460,569	9.9	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	308,174	6.6	11.8	10.1
減価償却費	365,661	7.8	8.6	9.5
経費	1,532,610	32.8	22.0	28.6
(うち委託料)	739,498	15.8	11.8	14.4
研究研修費	16,239			
資産減耗費	9,257			
(2) 医業外費用	241,109			
(うち支払利息)	20,046	0.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	19,539			
経常損益	-774,165			
純損益	-793,068			
累積欠損金	4,729,103			
経常収支比率	87.5		93.0	89.9
医業収支比率	78.2		83.9	79.3
修正医業収支比率	75.4		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	13.5		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	15.7		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	13.5		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	75.7		81.6	77.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,896,521
1 固定資産	3,735,972
(1) 有形固定資産	3,598,334
(2) 無形固定資産	134,045
(3) 投資その他の資産	3,593
2 流動資産	1,160,549
(1) 現金及び預金	368,836
(2) 未収金及び未収収益	763,126
(3) 貸倒引当金()	1,325
(4) 貯蔵品	29,912
3 繰延資産	-
負債合計	3,486,836
1 固定負債	2,399,358
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,132,470
(2) その他の企業債	262,045
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	1,000,000
(5) 引当金	-
(6) リース債務	4,843
2 流動負債	1,033,820
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	399,801
(2) その他の企業債	19,053
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	214,788
(6) リース債務	14,802
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	369,439
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	53,658
(1) 長期前受金	592,686
(2) 長期前受金収益化累計額()	539,028
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,409,685
1 資本金	6,129,614
2 剰余金	-4,719,929
(1) 資本剰余金	9,174
(2) 利益剰余金	-4,729,103
負債・資本合計	4,896,521
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	731,889	731,889
資本勘定繰入	173,320	173,320
計	905,209	905,209

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	101.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		恵那市			
病院名		市立恵那病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,063 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	へ 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	199	60.9	57.8	58.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	60.9	57.8	58.4
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	10.1	9.6

設立団体の状況		
人口(人)	47,774	
決算規模(千円)	32,716,644	
標準財政規模(千円)	17,829,650	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	414,215			
1 経常収益	414,215			
(1) 医業収益	154,743			
(うち修正医業収益)	6,592			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	154,743			
(うち他会計負担金)	148,151			
(2) 医業外収益	259,472			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	193,820			
(うち長期前受金戻入)	34,884			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	692,654			
2 経常費用	692,654			
(1) 医業費用	631,099			
職員給与費	16,787	10.8	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	416,673	269.3	8.6	10.8
経費	195,681	126.5	22.0	29.9
(うち委託料)	6,192	4.0	11.8	13.7
研究研修費	570			
資産減耗費	1,388			
(2) 医業外費用	61,555			
(うち支払利息)	26,490	17.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-278,439			
純損益	-278,439			
累積欠損金	2,779,796			
経常収支比率	59.8		93.0	91.6
医業収支比率	24.5		83.9	77.4
修正医業収支比率	1.0		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	82.6		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	221.0		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	82.6		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	10.4		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,457,569
1 固定資産	6,634,192
(1) 有形固定資産	6,088,332
(2) 無形固定資産	127,069
(3) 投資その他の資産	418,791
2 流動資産	3,823,377
(1) 現金及び預金	3,034,161
(2) 未収金及び未収収益	777,615
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,602
3 繰延資産	-
負債合計	4,374,600
1 固定負債	3,003,356
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,944,627
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	58,729
(6) リース債務	-
2 流動負債	567,033
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	317,711
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	36,209
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	206,673
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	804,211
(1) 長期前受金	1,784,564
(2) 長期前受金収益化累計額()	980,353
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,082,969
1 本金	9,110,261
2 剰余金	-3,027,292
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,027,292
負債・資本合計	10,457,569
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	257,505	341,971
資本勘定繰入	163,340	309,212
計	420,845	651,183

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	379.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		恵那市			
病院名		国民健康保険上矢作病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,238 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救 臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	56	47.8	44.0	46.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	47.8	44.0	46.6
平均在院日数(一般病床のみ)		7.0	10.0	9.0

設立団体の状況	
人口(人)	47,774
決算規模(千円)	32,716,644
標準財政規模(千円)	17,829,650
財政力指数	0.45
経常収支比率(%)	90.4
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
将来負担比率(%)	2.1
	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	806,977			
1 経常収益	806,977			
(1) 医業収益	644,791			
(うち修正医業収益)	579,274			
入院収益	317,966			
外来収益	221,183			
診療収入計	539,149			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	105,642			
(うち他会計負担金)	65,517			
(2) 医業外収益	162,186			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	151,133			
(うち長期前受金戻入)	6,605			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	885,842			
2 経常費用	885,842			
(1) 医業費用	856,407			
職員給与費	549,583	85.2	60.8	82.0
材料費	115,244	17.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	80,813	12.5	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,463	5.2	11.8	6.1
減価償却費	48,193	7.5	8.6	12.5
経費	141,599	22.0	22.0	34.4
(うち委託料)	93,331	14.5	11.8	16.9
研究研修費	1,494			
資産減耗費	294			
(2) 医業外費用	29,435			
(うち支払利息)	727	0.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-78,865			
純損失	-78,865			
累積欠損金	257,996			
経常収支比率	91.1		93.0	93.1
医業収支比率	75.3		83.9	69.6
修正医業収支比率	67.6		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	26.8		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	33.6		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	26.8		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	66.6		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,457,569
1 固定資産	6,634,192
(1) 有形固定資産	6,088,332
(2) 無形固定資産	127,069
(3) 投資その他の資産	418,791
2 流動資産	3,823,377
(1) 現金及び預金	3,034,161
(2) 未収金及び未収収益	777,615
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,602
3 繰延資産	-
負債合計	4,374,600
1 固定負債	3,003,356
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,944,627
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	58,729
(6) リース債務	-
2 流動負債	567,033
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	317,711
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	36,209
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	206,673
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	804,211
(1) 長期前受金	1,784,564
(2) 長期前受金収益化累計額()	980,353
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,082,969
1 本金	9,110,261
2 剰余金	-3,027,292
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,027,292
負債・資本合計	10,457,569
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	211,650	216,650
資本勘定繰入	18,082	18,082
計	229,732	234,732

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	379.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		土岐市			
病院名		土岐市立総合病院・駄知診療所			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,807 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	350	28.4	28.8	28.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	350	28.4	28.8	28.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	17.3	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	55,348	
決算規模(千円)	25,499,982	
標準財政規模(千円)	13,820,506	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,147,264			
1 経常収益	1,147,264			
(1) 医業収益	3,306			
(うち修正医業収益)	3,306			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	3,306			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,143,958			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	943,243			
(うち長期前受金戻入)	190,135			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,290,582			
2 経常費用	1,290,582			
(1) 医業費用	1,047,490			
職員給与費	-	-	60.8	61.3
材料費	-	-	27.1	26.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	278,349	8419.5	8.6	8.5
経費	769,056	23262.4	22.0	21.8
(うち委託料)	4,557	137.8	11.8	11.9
研究研修費	85			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	243,092			
(うち支払利息)	13,751	415.9	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-143,318			
純損失	-143,318			
累積欠損金	7,274,943			
経常収支比率	88.9		93.0	92.2
医業収支比率	0.3		83.9	84.6
修正医業収支比率	0.3		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	82.2		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	28531.2		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	82.2		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	15.8		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,366,800
1 固定資産	3,971,707
(1) 有形固定資産	3,961,142
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	10,565
2 流動資産	395,093
(1) 現金及び預金	394,111
(2) 未収金及び未収収益	1,678
(3) 貸倒引当金()	696
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,577,690
1 固定負債	555,024
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	555,024
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	235,721
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	218,749
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,972
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	786,945
(1) 長期前受金	1,975,033
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,188,088
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,789,110
1 本金	9,634,294
2 剰余金	-6,845,184
(1) 資本剰余金	429,759
(2) 利益剰余金	-7,274,943
負債・資本合計	4,366,800
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,643	943,243
資本勘定繰入	88,916	261,382
計	92,559	1,204,625

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	220052.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)			都道府県名
			岐阜県
市町村・組合名	飛騨市		
病院名	国民健康保険飛騨市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,237 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	15	指定病院の状況	救へ輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	54	71.0	71.3	73.0
療養	27	56.7	75.7	81.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	81	66.2	72.7	75.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.5	18.6	20.5

設立団体の状況	
人口(人)	22,538
決算規模(千円)	22,839,287
標準財政規模(千円)	10,500,485
財政力指数	0.34
経常収支比率(%)	90.0
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 10.6 -

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,561,329			
1 経常収益	1,561,329			
(1) 医業収益	1,183,208			
(うち修正医業収益)	1,145,217			
入院収益	618,142			
外来収益	451,978			
診療収入計	1,070,120			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	113,088			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	378,121			
(うち国・都道府県補助金)	1,463			
(うち他会計補助・負担金)	211,138			
(うち長期前受金戻入)	41,207			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,779,227			
2 経常費用	1,761,727			
(1) 医業費用	1,686,070			
職員給与費	815,825	69.0	60.8	82.0
材料費	138,389	11.7	27.1	14.2
(うち薬品費)	65,684	5.6	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	70,392	5.9	11.8	6.1
減価償却費	167,055	14.1	8.6	12.5
経費	558,504	47.2	22.0	34.4
(うち委託料)	150,853	12.7	11.8	16.9
研究研修費	3,776			
資産減耗費	2,521			
(2) 医業外費用	75,657			
(うち支払利息)	4,967	0.4	0.9	1.2
(3) 特別損失	17,500			
経常損益	-200,398			
純損益	-217,898			
累積欠損金	796,811			
経常収支比率	88.6		93.0	93.1
医業収支比率	70.2		83.9	69.6
修正医業収支比率	67.9		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.0		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	21.1		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	16.0		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	74.5		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,741,754
1 固定資産	1,295,520
(1) 有形固定資産	1,295,503
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	17
2 流動資産	1,446,234
(1) 現金及び預金	1,181,693
(2) 未収金及び未収収益	248,731
(3) 貸倒引当金()	719
(4) 貯蔵品	11,518
3 繰延資産	-
負債合計	851,440
1 固定負債	309,331
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	309,331
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	263,851
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	84,632
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,065
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	109,329
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	278,258
(1) 長期前受金	1,040,848
(2) 長期前受金収益化累計額()	762,590
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,890,314
1 本金	2,133,448
2 剰余金	-243,134
(1) 資本剰余金	139,450
(2) 利益剰余金	-382,584
負債・資本合計	2,741,754
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	300,306	249,129
資本勘定繰入	46,902	30,057
計	347,208	279,186

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	67.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	郡上市		
病院名	郡上市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	15,089 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	11	指定病院の状況	救臨へ
許可公営企業	許可	看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	100	85.4	81.4	77.0
療養	50	49.6	9.8	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	79.2	74.0	77.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	15.0	14.5

設立団体の状況		
人口(人)	38,997	
決算規模(千円)	31,164,190	
標準財政規模(千円)	18,362,046	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	87.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	58.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,030,178			
1 経常収益	3,027,033			
(1) 医業収益	2,309,005			
(うち修正医業収益)	2,269,220			
入院収益	1,232,659			
外来収益	894,264			
診療収入計	2,126,923			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	182,082			
(うち他会計負担金)	39,785			
(2) 医業外収益	718,028			
(うち国・都道府県補助金)	29,715			
(うち他会計補助・負担金)	642,955			
(うち長期前受金戻入)	34,893			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,145			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,140,513			
2 経常費用	3,133,526			
(1) 医業費用	2,986,628			
職員給与費	1,654,126	71.6	60.8	69.3
材料費	406,668	17.6	27.1	18.4
(うち薬品費)	257,730	11.2	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	126,600	5.5	11.8	9.1
減価償却費	242,306	10.5	8.6	10.8
経費	679,492	29.4	22.0	29.9
(うち委託料)	233,443	10.1	11.8	13.7
研究研修費	3,167			
資産減耗費	869			
(2) 医業外費用	146,898			
(うち支払利息)	64,322	2.8	0.9	1.0
(3) 特別損失	6,987			
損益	-106,493			
純損益	-110,335			
累積欠損金	2,474,441			
経常収支比率	96.6		93.0	91.6
医業収支比率	77.3		83.9	77.4
修正医業収支比率	76.0		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	22.6		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	29.6		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	22.5		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	74.8		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,286,793
1 固定資産	5,740,789
(1) 有形固定資産	5,738,144
(2) 無形固定資産	1,944
(3) 投資その他の資産	701
2 流動資産	546,004
(1) 現金及び預金	9,918
(2) 未収金及び未収収益	525,946
(3) 貸倒引当金()	23,753
(4) 貯蔵品	33,886
3 繰延資産	-
負債合計	5,678,830
1 固定負債	3,420,428
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,862,231
(2) その他の企業債	552,504
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	5,693
2 流動負債	1,918,556
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	442,643
(2) その他の企業債	51,382
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	191,230
(6) リース債務	7,209
(7) 一時借入金	966,632
(8) 未払金及び未払費用	256,384
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	339,846
(1) 長期前受金	976,772
(2) 長期前受金収益化累計額()	636,926
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	607,963
1 本金	4,262,029
2 剰余金	-3,654,066
(1) 資本剰余金	23,893
(2) 利益剰余金	-3,677,959
負債・資本合計	6,286,793
不良債務	929,909
実質資金不足額	929,909
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	333,214	682,740
資本勘定繰入	172,839	148,474
計	506,053	831,214

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	929,909	28.7
令和5年度	709,064	21.6
令和4年度	323,520	9.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	113.4
健全化法上の資金不足額(千円)	132,753
健全化法上の資金不足比率(%)	4.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,482,413
地財法上の資金不足比率(%)	45.7

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名		郡上市			
病院名		県北西部地域医療センター国保白鳥病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,393 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業	許可	看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	46	80.1	73.1	69.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	46	80.1	73.1	69.0
平均在院日数(一般病床のみ)		20.8	18.2	19.7

設立団体の状況		
人口(人)	38,997	
決算規模(千円)	31,164,190	
標準財政規模(千円)	18,362,046	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	87.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	58.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,175,070			
1 経常収益	1,173,764			
(1) 医業収益	933,737			
(うち修正医業収益)	914,721			
入院収益	468,079			
外来収益	311,557			
診療収入計	779,636			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	154,101			
(うち他会計負担金)	19,016			
(2) 医業外収益	240,027			
(うち国・都道府県補助金)	20,905			
(うち他会計補助・負担金)	179,801			
(うち長期前受金戻入)	22,838			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,306			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,249,498			
2 経常費用	1,247,621			
(1) 医業費用	1,217,279			
職員給与費	802,816	86.0	60.8	92.5
材料費	101,045	10.8	27.1	14.2
(うち薬品費)	36,165	3.9	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	53,850	5.8	11.8	5.8
減価償却費	66,612	7.1	8.6	13.4
経費	242,299	25.9	22.0	47.6
(うち委託料)	64,722	6.9	11.8	23.6
研究研修費	4,248			
資産減耗費	259			
(2) 医業外費用	30,342			
(うち支払利息)	7,597	0.8	0.9	0.9
(3) 特別損失	1,877			
経常損益	-73,857			
純損益	-74,428			
累積欠損金	1,203,518			
経常収支比率	94.1		93.0	95.6
医業収支比率	76.7		83.9	59.3
修正医業収支比率	75.1		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.9		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	21.3		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	16.9		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	78.1		81.6	60.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,286,793
1 固定資産	5,740,789
(1) 有形固定資産	5,738,144
(2) 無形固定資産	1,944
(3) 投資その他の資産	701
2 流動資産	546,004
(1) 現金及び預金	9,918
(2) 未収金及び未収収益	525,946
(3) 貸倒引当金()	23,753
(4) 貯蔵品	33,886
3 繰延資産	-
負債合計	5,678,830
1 固定負債	3,420,428
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,862,231
(2) その他の企業債	552,504
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	5,693
2 流動負債	1,918,556
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	442,643
(2) その他の企業債	51,382
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	191,230
(6) リース債務	7,209
(7) 一時借入金	966,632
(8) 未払金及び未払費用	256,384
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	339,846
(1) 長期前受金	976,772
(2) 長期前受金収益化累計額()	636,926
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	607,963
1 本金	4,262,029
2 剰余金	-3,654,066
(1) 資本剰余金	23,893
(2) 利益剰余金	-3,677,959
負債・資本合計	6,286,793
不良債務	929,909
実質資金不足額	929,909
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	221,538	198,817
資本勘定繰入	71,283	71,283
計	292,821	270,100

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	929,909	28.7
令和5年度	709,064	21.6
令和4年度	323,520	9.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	113.4
健全化法上の資金不足額(千円)	132,753
健全化法上の資金不足比率(%)	4.0
地財法上の資金不足額(千円)	1,482,413
地財法上の資金不足比率(%)	45.7

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				岐阜県	
市町村・組合名	下呂市				
病院名	下呂市立金山病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,954 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	50	38.8	41.9	46.2
療養	-	30.1	40.9	44.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	34.7	41.4	45.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	17.3	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	30,428	
決算規模(千円)	25,538,522	
標準財政規模(千円)	13,653,176	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,244,956			
1 経常収益	1,244,956			
(1) 医業収益	722,832			
(うち修正医業収益)	686,538			
入院収益	293,790			
外来収益	344,325			
診療収入計	638,115			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	84,717			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	522,124			
(うち国・都道府県補助金)	1,239			
(うち他会計補助・負担金)	482,202			
(うち長期前受金戻入)	30,654			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,288,885			
2 経常費用	1,288,885			
(1) 医業費用	1,236,876			
職員給与費	720,131	99.6	60.8	82.0
材料費	100,752	13.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	28,797	4.0	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	69,592	9.6	11.8	6.1
減価償却費	97,108	13.4	8.6	12.5
経費	316,593	43.8	22.0	34.4
(うち委託料)	150,221	20.8	11.8	16.9
研究研修費	1,810			
資産減耗費	482			
(2) 医業外費用	52,009			
(うち支払利息)	10,980	1.5	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-43,929			
純損益	-43,929			
累積欠損金	1,852,046			
経常収支比率	96.6		93.0	93.1
医業収支比率	58.4		83.9	69.6
修正医業収支比率	55.5		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	41.6		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	71.7		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	41.6		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	56.4		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,837,292
1 固定資産	1,713,018
(1) 有形固定資産	1,670,543
(2) 無形固定資産	1,117
(3) 投資その他の資産	41,358
2 流動資産	124,274
(1) 現金及び預金	14,095
(2) 未収金及び未収収益	102,347
(3) 貸倒引当金()	672
(4) 貯蔵品	3,504
3 繰延資産	-
負債合計	1,917,349
1 固定負債	1,201,391
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,030,986
(2) その他の企業債	170,405
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	222,107
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	86,288
(2) その他の企業債	16,440
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	45,940
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	52,211
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	493,851
(1) 長期前受金	742,627
(2) 長期前受金収益化累計額()	248,776
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-80,057
1 本金	1,728,403
2 剰余金	-1,808,460
(1) 資本剰余金	26,366
(2) 利益剰余金	-1,834,826
負債・資本合計	1,837,292
不良債務	11,545
実質資金不足額	11,545
資本不足額()	80,057
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	268,496	518,496
資本勘定繰入	46,071	46,071
計	314,567	564,567

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	11,545	1.6
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	256.2
健全化法上の資金不足額(千円)	11,545
健全化法上の資金不足比率(%)	1.5
地財法上の資金不足額(千円)	181,950
地財法上の資金不足比率(%)	25.1

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	関ヶ原町		
病院名	国保関ヶ原病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	6,610
決算規模(千円)	5,029,614
標準財政規模(千円)	2,967,661
財政力指数	0.46
経常収支比率(%)	92.8
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,091			
1 経常収益	10,091			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	10,091			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,091			
2 経常費用	10,091			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	82.0
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.1
減価償却費	-	-	8.6	12.5
経費	-	-	22.0	34.4
(うち委託料)	-	-	11.8	16.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	10,091			
(うち支払利息)	10,091	-	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	93.1
医業収支比率	-		83.9	69.6
修正医業収支比率	-		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	68.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	5,068	-
資本勘定繰入	29,360	-
計	34,428	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	東白川村		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,016	
決算規模(千円)	3,341,054	
標準財政規模(千円)	1,824,464	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.5
	将来負担比率(%)	8.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	139			
1 経常収益	139			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	139			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	139			
2 経常費用	139			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	-	-	8.6	13.4
経費	-	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	139			
(うち支払利息)	139	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	60.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,443
1 固定資産	6,443
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	6,443
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,443
1 固定負債	6,443
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,443
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	6,443
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	90	-
資本勘定繰入	421	-
計	511	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		岐阜県	
市町村・組合名	東濃中部病院事務組合		
病院名	公立東濃中部医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	95,979	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	58.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	117,450			
1 経常収益	117,450			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	117,450			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	117,050			
(うち長期前受金戻入)	400			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	117,522			
2 経常費用	117,522			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	-
材料費	-	-	27.1	-
(うち薬品費)	-	-	14.8	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	-
減価償却費	-	-	8.6	-
経費	-	-	22.0	-
(うち委託料)	-	-	11.8	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	117,522			
(うち支払利息)	23,979	-	0.9	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-72			
純損益	-72			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.9		93.0	104.1
医業収支比率	-		83.9	-
修正医業収支比率	-		81.0	-
他会計繰入金対経常収益比率	99.7		12.2	99.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	-
他会計繰入金対総収益比率	99.7		12.3	99.4
実質収益対経常費用比率	0.3		81.6	0.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	11,935,566
1 固定資産	11,535,836
(1) 有形固定資産	11,535,036
(2) 無形固定資産	800
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	399,730
(1) 現金及び預金	395,528
(2) 未収金及び未収収益	4,202
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	11,900,539
1 固定負債	3,902,348
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,902,348
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	6,049,281
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	276,702
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,767,576
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,948,910
(1) 長期前受金	1,950,110
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,200
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	35,027
1 本金	24,590
2 剰余金	10,437
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	10,437
負債・資本合計	11,935,566
不良債務	5,372,849
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	15,986	117,050
資本勘定繰入	2,310,441	164,982
計	2,326,427	282,032

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	5,372,849	-
令和5年度	958,182	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。